

人・モノ・情報の交錯におけるダイナミズム

—東アジアの物質文化からみた普遍性と独自性—

日時： 2013年11月23日（土） 10:00—17:30

会場： 神奈川大学横浜キャンパス 16号館視聴覚ホールB

主催：共同研究「東アジアの民具・物質文化からみた比較文化史」グループ

プログラム

総合司会(小熊 誠)

10:00-10:10開会挨拶(佐野賢治)

10:10-10:20主旨説明(角南聡一郎)

①国民国家の時代とモノの交錯

10:20-10:50鈴木文子「朝鮮玩具の社会史—植民地期朝鮮における'鮮玩'の発見とその系譜—」

10:50-11:20中尾「中華世界の民間版画—天理参考館所蔵資料を中心に—」

11:20-11:50太田心平「消費されるガラス乾板写真—植民地朝鮮と現代韓国の一関係性—」

11:50-12:05コメント(角南聡一郎)

12:05-13:10休憩

②国民国家形成以前のモノの交錯

13:10-13:40榎林啓介「物質文化から見た東アジア稲作伝播論再考」

14:10-14:25角南聡一郎「物質文化を比較する—東アジアの貨幣、甌、除草具を例に—」

14:25-14:35コメント(朽木量)

13:40-14:10休憩

③グローバルなモノの交錯

14:35-15:05志賀市子「台湾におけるQ版神仙ブームとその背景」

15:05-15:35芹澤知広「ベトナムの紙銭から中越関係を考える」

15:35-15:50コメント(小熊誠)

15:50-16:05総合コメンテータのコメント①(小島浩二)

16:05-16:20総合コメンテータのコメント②(加藤摩文)

④討論

16:20-17:20討論

17:20-閉会挨拶(小熊誠)

